

加賀周遊バス キャンバス

～ 観光客と地域住民の移動手段の確保～



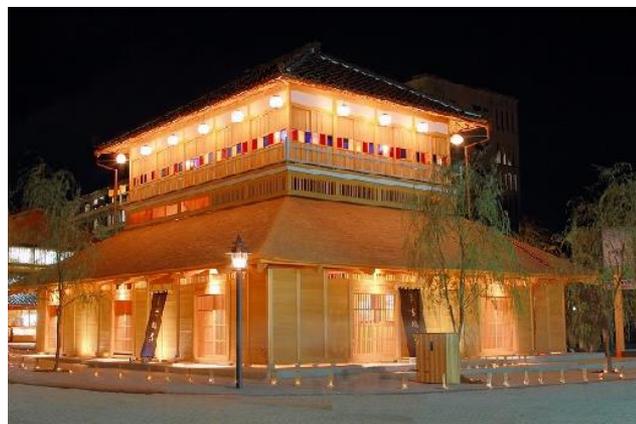
株式会社 まちづくり加賀

加賀市の紹介

- ・石川県の南西端に位置し、日本海と白山連峰に囲まれたまち
- ・人口は68,817人（平成28年8月1日現在）
- ・九谷焼や山中漆器などの伝統工芸品が全国的に有名
- ・加賀温泉郷（片山津、山代、山中温泉）を有し、観光業も盛ん



九谷焼



山代温泉 古総湯



橋立港産ズワイガニ

事業の背景と目的

背景

- 👉 平成8年に「先進的商店街活性化事業」（モデル事業地域）の一環として周遊バス構想が持ち上がる
- 👉 加賀市オピニオンリーダー(H8)、加賀市新産業ビジョン(H9)、首都圏旅行エージェント(H10, 11)による報告から地域循環バス（二次交通機関）の必要性を指摘される



目的

- ✓ 加賀温泉郷の活性化と観光客の利便性の向上
- ✓ 交流人口の拡大
- ✓ 滞在時間の延長による観光客の「回遊性」「滞留性」の向上を図り、地域活性化に寄与



法人設立（まちづくり加賀）による周遊観光バス路線の構築

(株) まちづくり加賀の特徴

- 行政、商工会議所、観光協会、温泉観光協会、地元バス会社等の出資により平成12年に設立

< (株) まちづくり加賀 設立関係者一覧 >

加賀市	片山津温泉観光協会
加賀商工会議所	地元バス会社
加賀市観光協会（現 加賀市観光交流機構）	各旅館協同組合
山代温泉観光協会	（加賀温泉郷）観光施設関係者

- 加賀温泉郷に点在する温泉地と加賀市内・近郊に点在する観光名所を周遊する「キャンバス」を関係各所と連携し、運行
- 乗客からの運賃収入の他に、停車する観光施設からの「施設協力金」を得て運営
- 各車にはスタッフが車掌兼ガイドとして乗務し、案内放送や周遊券の販売、改札、観光案内を担う
- 平成20年から、市内を運行していた民間路線バスの路線大幅縮小に伴い、地域バス停を8か所設置し、公共交通の一翼を担う

これまでの取組み

< (株) まちづくり加賀 の沿革 >

年次	取組み内容
平成12年6月	加賀商工会議所、加賀市観光協会、山代温泉観光協会、片山津温泉観光協会等の出資によって設立
平成12年8月	加賀商工会議所が運行主体となり、観光周遊バス「CANBUS」の試験運行開始（無料）
平成12年9月	1日500円による CANBUS 有料運行が開始。日本海観光バスと加賀温泉バスの小型バス3台で運用
平成13年4月	CANBUS 運行主体を加賀商工会議所より引き継ぐ。大型バス1台を増車して本格運行を開始。同時に運賃を1日700円に改定
平成13年12月	CANBUS 2日周遊券の販売を開始（価格：1,000円）
平成16年4月	CANBUS 1日周遊券の価格を800円に改定
平成19年1月	CANBUS 運行ルートを「山まわりルート」と「海まわりルート」に分割。1日周遊券の価格を1,000円、2日周遊券の価格を1,200円に改定
平成20年5月	加賀温泉バスの一部路線廃止に伴い、CANBUS「JR大聖寺駅口」などのバス停を新設。地元利用者向けに格安のファミリー回数券（11名綴3,000円）の販売を開始
平成22年7月	山中温泉への CANBUS 乗り入れを開始、同時に運行委託先を日本海観光バスに一本化
平成24年4月	CANBUS 小松空港線、山まわりルートの御菓子城加賀藩先行コースを開設
平成27年4月	CANBUS ローカル専用系統「橋立・動橋循環線」を新設

キャンバス (CANBUS) について

- 観光客の他、市民も日常生活の移動で乗れるバス
- 35か所の観光施設（公営・民間）や名所を結ぶ
- “CAN=できる”+“BUS=バス”→“キャンバス”→“キャンパス (CAMPUS)”→“描く”から“自分自身で加賀の旅を自由自在に描いていく”に由来
- JR加賀温泉駅を起点に、山代温泉方面の「山まわり線」と片山津温泉方面の「海まわり線」、小松空港に乗り入れる「小松空港線」がある
- 「橋立・動橋循環線」はローカル専用系統
- 「山まわり線」「海まわり線」「小松空港線」にはスタッフが車掌兼ガイドとして乗務し、案内放送や周遊券の販売、改札、観光案内を担う
- 運賃は11回乗車分の回数券が3,000円（1乗車あたり約273円）
※1日券（1,000円）と2日券（1,200円）もあり
- 旅館の窓口や観光施設でフリー乗車券を購入することで何回でも乗り降りが可能



キャンバス (CANBUS) の運行ルート



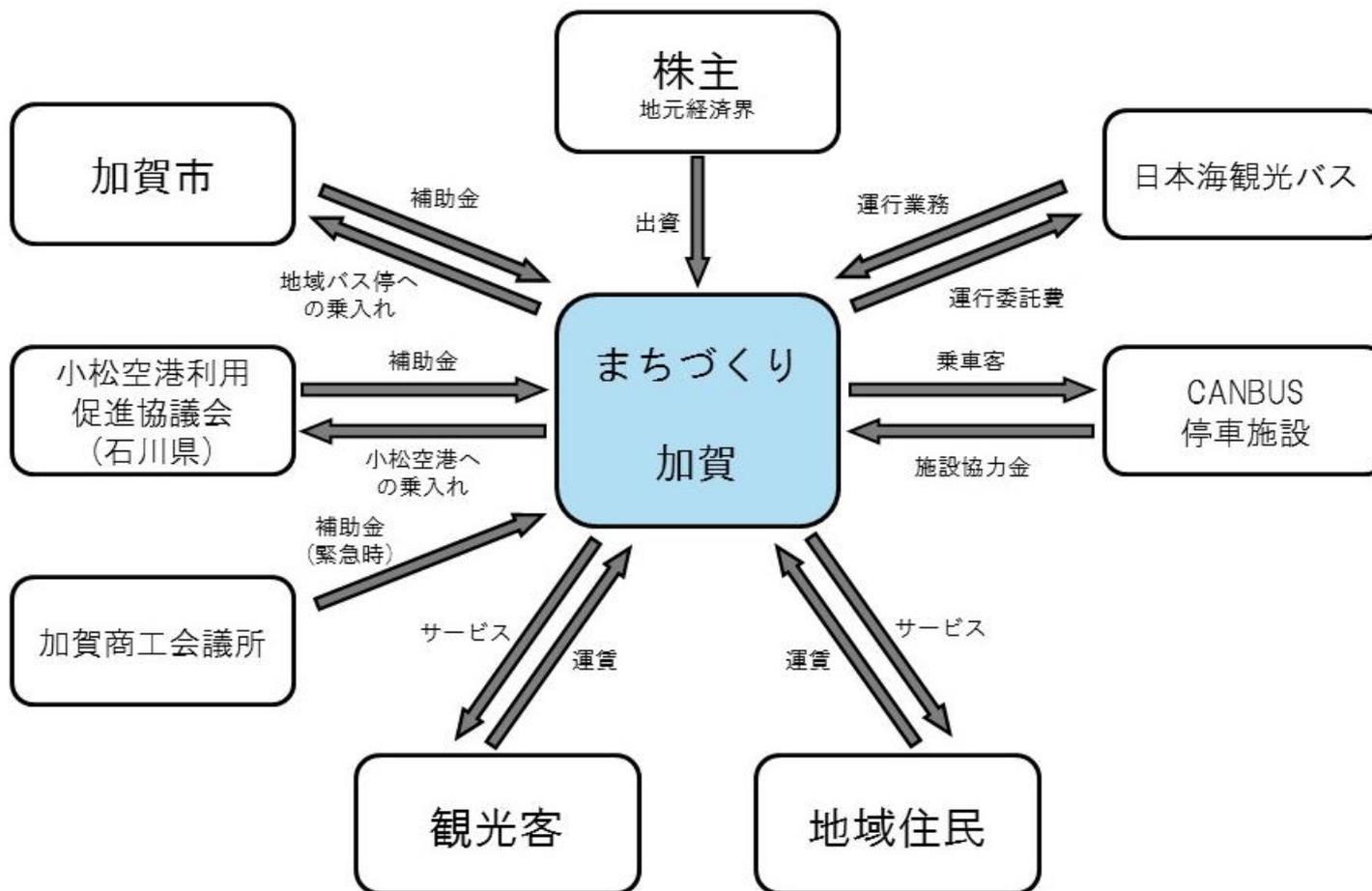
ビジネスモデル（その1）

- 主な収入源は乗客からの運賃収入（構成比55%）及び停車する観光施設からの協力金（構成比44%）にて構成（平成26年度決算）
- 関西からの観光客がメインで、主なPR方法として大手旅行代理店各社の旅行パンフレットに「キャンバス」の情報を掲載し、顧客への周知及び周遊券の提携販売を図る
- 平成20年には民間バス会社の一部路線廃止を受けて、生活利用に適した地域バス停を設置（例：加賀市民病院、加賀市役所）
- 地域住民向けに格安の回数券を販売し、地域の足としての機能も有しており、乗客全体の約20%を占める
- 民間バス会社の廃止路線を一部引き継ぐことにより、加賀市から補助金を受給
- 小松空港利用促進のために「小松空港線」は、石川県から補助金を受給し運行している
- 補助金は近年の営業損失を実質的に補てんしており、企業が存続する上で大きな役割を担う



ビジネスモデル（その2）

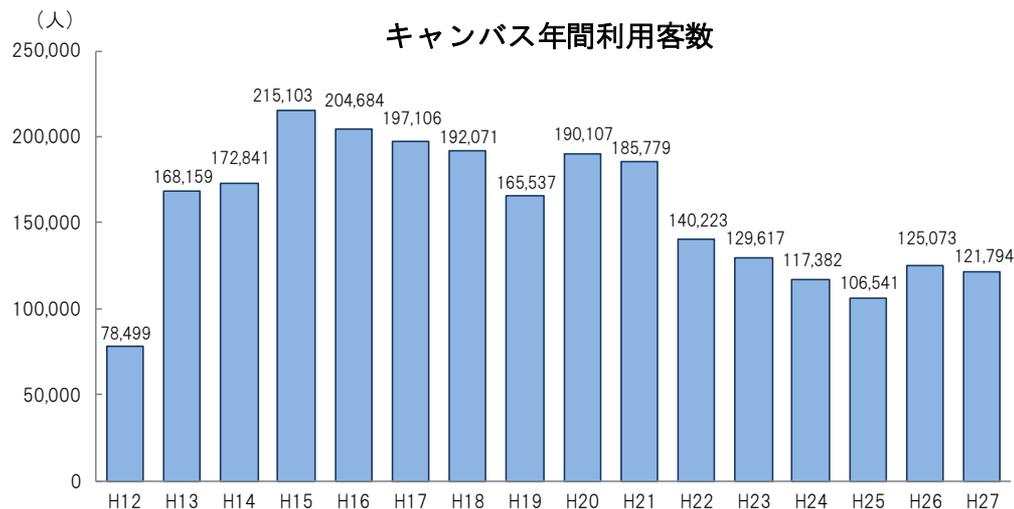
<（株）まちづくり加賀のビジネスモデル俯瞰図>



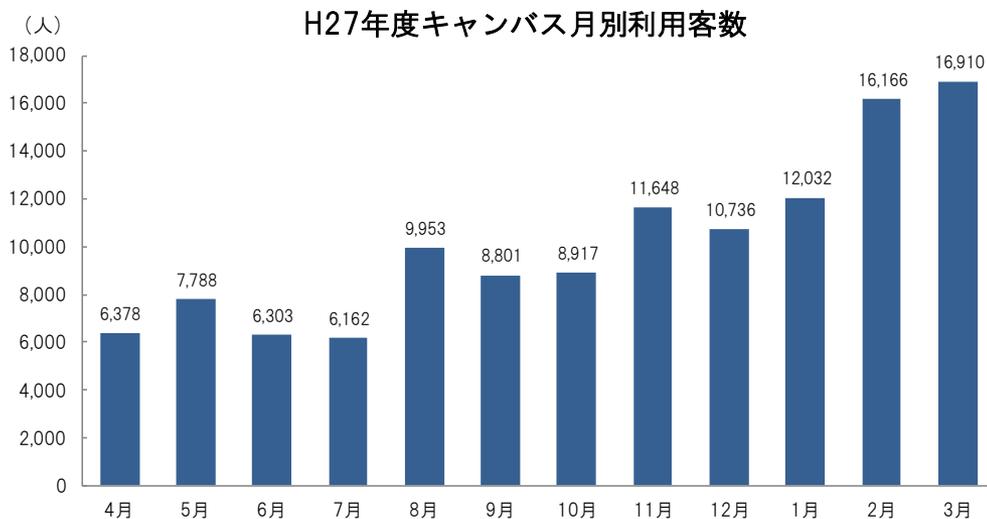
- ・ 周遊券販売提携先：大手旅行代理店、鉄道事業者、大手航空会社 等
- ・ パンフレット配布先：金沢市観光協会、小松空港到着ロビー案内所、加賀旅まちネット、山中温泉観光協会、山代温泉観光協会、片山津温泉観光協会、粟津温泉観光協会、旅行雑誌

キャンパス利用状況（利用客数）

- ・近年の年間利用客数は12万人台を推移
- ・H27年度の月別利用客数は季節変動が大きく、降雪時期での利用が多い

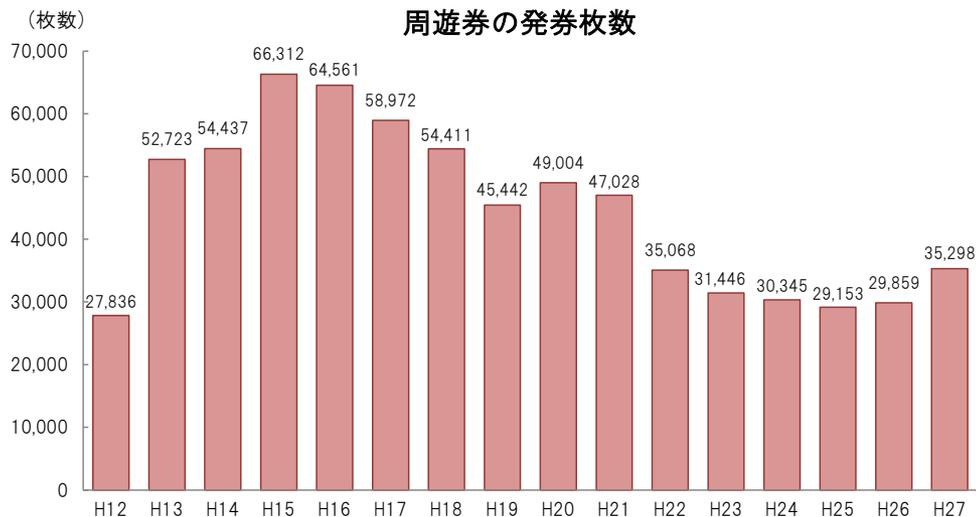


※H12年度は9月～3月のみ
※旅行会社等との企画券による利用客数は、左表には含まず

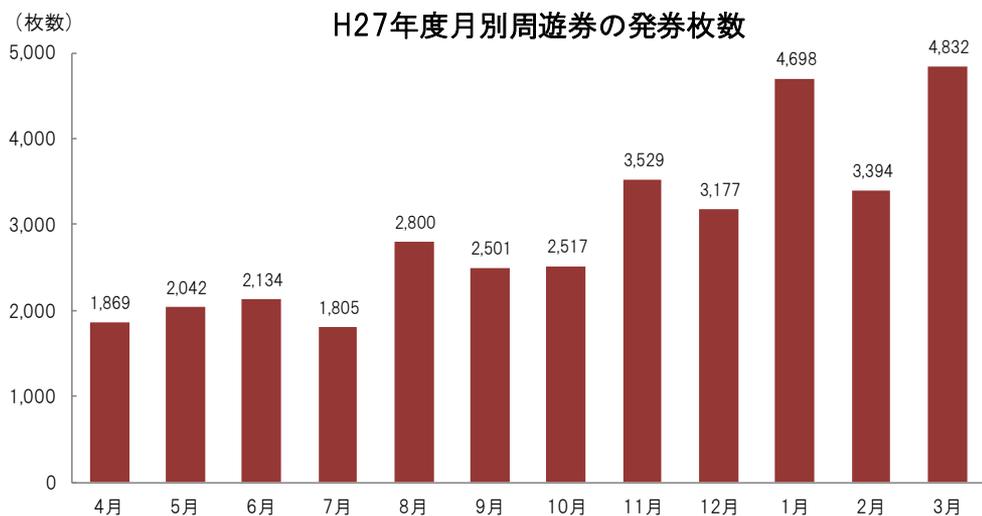


キャンバス利用状況（周遊券の発券枚数）

- ・近年の周遊券の発券枚数は増加傾向
- ・H27年度の月別周遊券の発券枚数も利用客数と同様に降雪時期が多い



※H12年度は9月～3月のみ
※旅行会社等との企画券による発券枚数は、左表には含まず



キャンバス 最近の取組み（その1）

＜温泉めぐりや観光もできるお得な割引券を販売＞

- 加賀温泉郷パスポート「キャンバス乗車券セット」の販売（1,500円）
 - ・キャンバス乗車券（2日券）と市内観光施設入場券（3か所）がセットになって格安に周遊できる観光パスポート
- ECO乗りクーポンの販売（600円）（加賀温泉郷宿泊者限定）
 - ・キャンバス（1回乗降券2枚分）、電動レンタサイクル（3時間利用）、EVレンタカー（500円割引）のいずれか1つ利用可能
 - ・市内観光施設入場券（1枚）とスイーツ券（1枚）が上記の乗り物利用・割引券にセット

湯めぐりも観光もできるお得なパスポート

3つの施設が選べる。発行日より2日間有効

加賀温泉郷

加賀温泉郷パスポート 入場券 800円

加賀温泉郷パスポート 1,500円

入場券3枚セット 800円

加賀周遊バス キャンバスも乗れちゃう
お得な「キャンバス乗車券セット」もあります。

入場券3枚セット キャンバス2日券 800円 + 1,200円 → キャンバス乗車券セット 1,500円

ECO乗りクーポン

いずれか1つ利用可能

600円

- キャンバス（1回乗降券2枚分）
- 電動レンタサイクル（3時間利用）
- EVレンタカー（500円割引）※1名につき1枚限り（上限は1台の乗車人数まで）
- 施設入場券（1枚）
- スイーツ券（1枚）

キャンバス

JR加賀温泉駅を起点に加賀温泉郷の見どころを巡回運行しています。
通常：1日券1,000円 2日券1,200円
▶ 紹介ページはこちら

電動レンタサイクル

モーターにより人力を補助する自転車。地場の技術でサドルの高さもワンタッチ調整出来ます。
通常：3時間/500円

EVレンタカー

走行中のCO2排出ゼロで、ガソリンをまったく使わない100%の電気自動車。
通常：6時間/5,000円 3時間/3,000円 ※ECO乗りクーポン対象外

よりどり 3 施設で利用できる！お得な観光パスポート。

キャンパス 最近の取組み (その2)

<小中学生向けイベント等を実施>

○キャンパス夏休み特集

- ・夏休み期間中、小中学生向けや大人も参加できる企画をキャンパス沿線施設で実施

(例：九谷焼ろくろ体験・絵付け体験、加賀金箔はり体験、輪島塗の沈金体験、紙漉き体験、山中漆器のお箸・スプーンづくり、イラスト原画体験、美術館探訪、カメラで虫撮り体験、片野海岸ビーチコーミング、アイロンビーズで雪の結晶づくり、お菓子づくり体験など)

- ・小中学生は予約すれば、通常の半額でキャンパスに乗車可能 (同伴者大人1名も半額)

そこらじゅうにシャッターチャンス。
カメラで虫撮り 2016
2016年5月3日(火・祝)~8月31日(火)
毎日10:00~16:00受付
※天候など都合により実施できないこともあります
加賀市鴨池観察館
〒922-0564
石川県加賀市片野町字2-1
Tel:0761-72-2200
Fax:0761-72-2295
E-mail: kamoike@k-agashi-ss.co.jp
「カメラで虫撮り2016」は
キャンマーケティングジャパン株式会社様のご協力により開催いたします。

小学生
イラスト原画
九谷焼絵皿展
森のどうぶつ
開催期間 7月23日~8月28日
会場 石川県九谷焼美術館 2階展示室 (休館日のみ開催)
※小学生のみの参加となります。小学生以上は九谷焼絵皿展もご覧いただけます。
夏休み期間限定の「**国産の絵皿をテーマにしたオリジナルの絵皿**」をご用意しております。
夏休み期間限定の「**国産の絵皿をテーマにしたオリジナルの絵皿**」をご用意しております。
石川県九谷焼美術館
〒922-0564
石川県加賀市片野町字2-1
Tel:0761-72-2200
Fax:0761-72-2295
E-mail: kamoike@k-agashi-ss.co.jp

九谷満月の
夏休み特集
夏休みの期間
(7月23日~8月31日)
「絵付け体験」又は「ろくろ体験」をぜひこの
には、下記のようなサービスがあります。
・店内での1階印刷、2階レストラン
の100円引の「割引券」を付けます
・「絵付け体験」プレゼント
・池の裏側を貸し出します
九谷焼 人間国宝 吉田美統
お食事処 まんげつ
絵付け体験
ろくろ体験
0120-47-2121
受付時間 10:00~17:00 (土日・祭日)
〒922-0564 石川県加賀市片野町字2-1
TEL 0761-77-2121
http://www.kanpaku.co.jp

課題と今後の展開

< 課題 >

- ・ 施設協力金を継続的に確保するためには、観光施設等との更なる連携を図る必要がある
- ・ 路線維持には行政や住民など利害関係者を含んだ連携や利用客ニーズの分析が必要である
- ・ 「山まわり線」「海まわり線」ともに一方通行であるため、利用者から使い勝手があまりよくないとの声がある

< 今後の展開 >

- ・ 近年、加賀市を訪れる外国人観光客が増えていることから、外国人観光客に対応したサービスとして、案内看板や停留所に英語や中国語、ハングルでの表記を整備する
- ・ 利用促進のために、インターネットや旅行雑誌、ガイドブック、チラシ等を使用し、「キャンバス」の知名度向上を図る効果的な宣伝活動をする
- ・ 市民のニーズを踏まえて、「橋立・動橋循環線」に次ぐ、新たなローカル専用路線を開設する